

哲学・思想サブプログラム

サブプログラム共通

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OAA3018	哲学プラクティス	2	1.0	1	春AB	金3	太田 紘史	哲学は根源的な問いに向き合う学問であるだけでなく、あらゆる問題圏と接しうる汎用的な思考法でもある。本科目では、毎回異なる話題をとりあげながら、そこに潜む様々な根源的な問いを取り出し、それに対する思考を深めるトレーニングを行う。授業中は、自身の思考を言語化して明確化するとともに、他者の言葉を通して自身の思考を吟味できるよう、対話とディスカッションによる演習を繰り返す。	OAA3001/OAA3002履修者は履修不可 オンライン(同時双方向型)
OABAAZC	哲学・思想修士論文執筆演習A	2	1.0	2	春AB	応談	木村 武史, 志田 泰盛, 井川 義次, 檜垣 良成, 橋本 康二, 津崎 良典, 土井 裕人, 千葉 建, 西村 雄太, 横山 剛, 太田 紘史	哲学研究、倫理学研究、宗教研究の諸領域のいずれかにおいて修士論文を執筆しようと計画している大学院生に対して、当該研究領域の立場から研究指導を行い、それぞれの論文の計画から執筆の初期段階までを指導する。	対面(オンライン併用型)
OABAAZD	哲学・思想修士論文執筆演習B	2	1.0	2	秋AB	応談	木村 武史, 志田 泰盛, 井川 義次, 檜垣 良成, 橋本 康二, 津崎 良典, 土井 裕人, 千葉 建, 西村 雄太, 横山 剛, 太田 紘史	哲学研究、倫理学研究、宗教研究の諸領域のいずれかにおいて修士論文を執筆しようと計画している大学院生に対して、当該研究領域の立場から研究指導を行い、それぞれの論文の完成に向けて指導する。	対面(オンライン併用型)

哲学分野

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OABAA05	哲学原論演習(1)B	2	1.0	1・2	秋AB	応談	橋本 康二	毎回の授業では、1名の受講生が、自分で研究テーマを設定し、ハンドアウトを準備して配布した上で、1時間程度の発表を行う(他の哲学原論演習で発表した履修者は別内容で発表しなければならない)。その内容を受けて、担当教員と全受講生によるディスカッションをおこなう。	分析哲学を専攻する大学院生に限る 西暦偶数年度開講。 02DBG51と同一。 対面(オンライン併用型)
OABAA07	哲学原論演習(2)B	2	1.0	1・2				毎回の授業では、1名の受講生が、自分で研究テーマを設定し、ハンドアウトを準備して配布した上で、1時間程度の発表を行う(他の哲学原論演習で発表した履修者は別内容で発表しなければならない)。その内容を受けて、担当教員と全受講生によるディスカッションをおこなう。	分析哲学を専攻する大学院生に限る 西暦奇数年度開講。 02DBK51と同一。 対面(オンライン併用型)
OABAA24	現代哲学I演習(1)A	2	1.0	1・2	春AB	火6	橋本 康二	英米系の現代哲学(分析哲学)の代表的な著作・論文を読みながら、現代哲学の諸問題を検討する。取り上げる著作・論文は年度によって異なる。	西暦偶数年度開講。 02DBG54と同一。 対面(オンライン併用型)
OABAA26	現代哲学I演習(2)A	2	1.0	1・2				英米系の現代哲学(分析哲学)の代表的な著作・論文を読みながら、現代哲学の諸問題を検討する。取り上げる著作・論文は年度によって異なる。	西暦奇数年度開講。 02DBK54と同一。 対面(オンライン併用型)
OABAA34	現代哲学II演習(1)A	2	1.0	1・2	春AB	木2	横山 幹子	本授業科目は演習科目であり、「情報の哲学」・「知識の哲学」をテーマとし、その問題を扱っている著作・論文を輪読し、そこで扱われている諸問題を検討する。本年度はフロリディの著作等を扱う予定である。	西暦偶数年度開講。 02DBG57と同一。 対面
OABAA35	現代哲学II演習(1)B	2	1.0	1・2	秋AB	木2	横山 幹子	本授業科目は演習科目であり、「情報の哲学」・「知識の哲学」をテーマとし、その問題を扱っている著作・論文を輪読し、そこで扱われている諸問題を検討する。本年度はフロリディの著作等を扱う予定である。	西暦偶数年度開講。 02DBG58と同一。 対面
OABAA36	現代哲学II演習(2)A	2	1.0	1・2				本授業科目は演習科目であり、「情報の哲学」・「知識の哲学」をテーマとし、その問題を扱っている著作・論文を輪読し、そこで扱われている諸問題を検討する。取り上げる著作・論文は年度により異なる。	西暦奇数年度開講。 02DBK57と同一。 対面
OABAA37	現代哲学II演習(2)B	2	1.0	1・2				本授業科目は演習科目であり、「情報の哲学」・「知識の哲学」をテーマとし、その問題を扱っている著作・論文を輪読し、そこで扱われている諸問題を検討する。取り上げる著作・論文は年度により異なる。	西暦奇数年度開講。 02DBK58と同一。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OABAA50	東洋哲学(1)A	1	1.0	1・2	春AB	金4	井川 義次	講義形式で東アジア文化圏に決定的な影響を与えた中国哲学のうち儒教の体系化を方向づけた宋学の経書解釈について教授する。とりわけ朱熹による「四書」解釈について関連文献を深く読解することを通じて解明する。本講義では朱熹の『論語』理解を『朱子語類』の『論語』泰伯1に対する言説を取り上げ、一言一句おろそかにすることなく、各種文献との関係のうちから理解することを目標とする。	西暦偶数年度開講。 02DBG61と同一。 対面
OABAA51	東洋哲学(1)B	1	1.0	1・2	秋AB	金4	井川 義次	講義形式で東アジア文化圏に決定的な影響を与えた中国哲学のうち儒教の体系化を方向づけた宋学の経書解釈について教授する。とりわけ朱熹による「四書」解釈について関連文献を深く読解することを通じて解明する。本講義では朱熹の『論語』理解を『朱子語類』の『論語』泰伯2に対する言説を取り上げ、一言一句おろそかにすることなく、各種文献との関係のうちから理解することを目標とする。	西暦偶数年度開講。 02DBG62と同一。 対面
OABAA52	東洋哲学(2)A	1	1.0	1・2				講義形式で東アジア文化圏に決定的な影響を与えた中国哲学のうち儒教の体系化を方向づけた宋学の経書解釈について教授する。とりわけ朱熹による「四書」解釈について関連文献を深く読解することを通じて解明する。本講義では朱熹の『論語』理解を『朱子語類』の『論語』泰伯3に対する言説を取り上げ、一言一句おろそかにすることなく、各種文献との関係のうちから理解することを目標とする。	西暦奇数年度開講。 02DBG61と同一。 対面
OABAA53	東洋哲学(2)B	1	1.0	1・2				講義形式で東アジア文化圏に決定的な影響を与えた中国哲学のうち儒教の体系化を方向づけた宋学の経書解釈について教授する。とりわけ朱熹による「四書」解釈について関連文献を深く読解することを通じて解明する。本講義では朱熹の『論語』理解を『朱子語類』の『論語』泰伯4に対する言説を取り上げ、一言一句おろそかにすることなく、各種文献との関係のうちから理解することを目標とする。	西暦奇数年度開講。 02DBG62と同一。 対面
OABAA54	東洋哲学演習(1)A	2	1.0	1・2	春AB	金5	井川 義次	演習形式で東アジア文化圏に決定的な影響を与えた中国哲学のうち儒教の体系化を方向づけた宋学の経書解釈について解明する。とりわけ朱熹による「四書」解釈について関連文献を深く読解することを通じて解明する。本講義では朱熹の『論語』理解を『朱子語類』の『論語』泰伯1に対する言説を取り上げ、一言一句おろそかにすることなく、各種文献との関係のうちから理解することを目標とする。	西暦偶数年度開講。 02DBG65と同一。 対面
OABAA55	東洋哲学演習(1)B	2	1.0	1・2	秋AB	金5	井川 義次	演習形式で東アジア文化圏に決定的な影響を与えた中国哲学のうち儒教の体系化を方向づけた宋学の経書解釈について解明する。とりわけ朱熹による「四書」解釈について関連文献を深く読解することを通じて解明する。本講義では朱熹の『論語』理解を『朱子語類』の『論語』泰伯2に対する言説を取り上げ、一言一句おろそかにすることなく、各種文献との関係のうちから理解することを目標とする。	西暦偶数年度開講。 02DBG66と同一。 対面
OABAA56	東洋哲学演習(2)A	2	1.0	1・2				演習形式で東アジア文化圏に決定的な影響を与えた中国哲学のうち儒教の体系化を方向づけた宋学の経書解釈について解明する。とりわけ朱熹による「四書」解釈について関連文献を深く読解することを通じて解明する。本講義では朱熹の『論語』理解を『朱子語類』の『論語』泰伯3に対する言説を取り上げ、一言一句おろそかにすることなく、各種文献との関係のうちから理解することを目標とする。	西暦奇数年度開講。 02DBG65と同一。 対面
OABAA57	東洋哲学演習(2)B	2	1.0	1・2				演習形式で東アジア文化圏に決定的な影響を与えた中国哲学のうち儒教の体系化を方向づけた宋学の経書解釈について教授する。とりわけ朱熹による「四書」解釈について関連文献を深く読解することを通じて解明する。本講義では朱熹の『論語』理解を『朱子語類』の『論語』泰伯4に対する言説を取り上げ、一言一句おろそかにすることなく、各種文献との関係のうちから理解することを目標とする。	西暦奇数年度開講。 02DBG66と同一。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
OABAA70	西洋哲学I(1)A	1	1.0	1・2	春AB	水1	檜垣 良成	西洋近代哲学の古典を読みながら、西洋理論哲学についての知識と哲学のテキストを読む力および問題を検討する力を修得することを旨とする。そのために、カントの『純粋理性の批判』周辺のテキストを読み、理性と経験についての理解を深めることを通して理論哲学の諸問題と対決する。	西暦偶数年度開講。 02DBG69と同一。 オンライン(同時双方向型)
OABAA71	西洋哲学I(1)B	1	1.0	1・2	秋AB	水1	檜垣 良成	西洋近代哲学の古典を読みながら、西洋理論哲学についての知識と哲学のテキストを読む力および問題を検討する力を修得することを旨とする。そのために、カントの『純粋理性の批判』周辺のテキストを読み、物自体と現象についての理解を深めることを通して理論哲学の諸問題と対決する。	西暦偶数年度開講。 02DBG70と同一。 オンライン(同時双方向型)
OABAA72	西洋哲学I(2)A	1	1.0	1・2				西洋近代哲学の古典を読みながら、西洋理論哲学についての知識と哲学のテキストを読む力および問題を検討する力を修得することを旨とする。そのために、カントの『純粋理性の批判』周辺のテキストを読み、感性的直観と純粋知性概念についての理解を深めることを通して理論哲学の諸問題と対決する。	西暦奇数年度開講。 02DBK69と同一。 オンライン(同時双方向型)
OABAA73	西洋哲学I(2)B	1	1.0	1・2				西洋近代哲学の古典を読みながら、西洋理論哲学についての知識と哲学のテキストを読む力および問題を検討する力を修得することを旨とする。そのために、カントの『純粋理性の批判』周辺のテキストを読み、純粋理性のアンチノミーと超越論的哲学についての理解を深めることを通して理論哲学の諸問題と対決する。	西暦奇数年度開講。 02DBG70と同一。 オンライン(同時双方向型)
OABAA74	西洋哲学I演習(1)A	2	1.0	1・2	春AB	火2	檜垣 良成	演習形態で西洋の実践哲学についての知識と哲学のテキストを読む力および問題を検討する力を修得するために、西洋哲学の最重要古典の一つであるカントの『実践理性の批判』を読み、認識能力と欲求能力との区別についての理解を深めるとともに実践哲学の諸問題を検討する。	西暦偶数年度開講。 02DBG73と同一。 対面(オンライン併用型)
OABAA75	西洋哲学I演習(1)B	2	1.0	1・2	秋AB	火2	檜垣 良成	演習形態で西洋の実践哲学についての知識と哲学のテキストを読む力および問題を検討する力を修得するために、西洋哲学の最重要古典の一つであるカントの『実践理性の批判』を読み、純粋理性と欲求能力との区別についての理解を深めるとともに実践哲学の諸問題を検討する。	西暦偶数年度開講。 02DBG74と同一。 対面(オンライン併用型)
OABAA76	西洋哲学I演習(2)A	2	1.0	1・2				演習形態で西洋の実践哲学についての知識と哲学のテキストを読む力および問題を検討する力を修得するために、西洋哲学の最重要古典の一つであるカントの『実践理性の批判』を読み、仮言的命法と定言的命法との区別についての理解を深めるとともに実践哲学の諸問題を検討する。	西暦奇数年度開講。 02DBK73と同一。 対面(オンライン併用型)
OABAA77	西洋哲学I演習(2)B	2	1.0	1・2				演習形態で西洋の実践哲学についての知識と哲学のテキストを読む力および問題を検討する力を修得するために、西洋哲学の最重要古典の一つであるカントの『実践理性の批判』を読み、他律と自律との区別についての理解を深めるとともに実践哲学の諸問題を検討する。	西暦奇数年度開講。 02DBK74と同一。 対面(オンライン併用型)
OABAA80	西洋哲学II(1)A	1	1.0	1・2	春C	月5.6	津崎 良典	フランス古典主義時代の哲学書を読解するうえで必要となる1)語学力、2)哲学・哲学史にかかわる知識、3)読解を通じて考察したことを文章にする技法の習得を目指す。そのために、近世フランス哲学の基本文献をフランス語原典で講読する。本授業は演習形式で進められるため、受講生は、事前の一次文献と二次文献の徹底した予習が求められる。かつ、授業中には積極的な発言が求められる。	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
OABAA81	西洋哲学II(1)B	1	1.0	1・2	秋C	月5.6	津崎 良典	フランス古典主義時代の哲学書を読解するうえで必要となる1)語学力、2)哲学・哲学史にかかわる知識、3)読解を通じて考察したことを文章にする技法の習得を目指す。そのために、近世フランス哲学の基本文献をフランス語原典で講読する。本授業は演習形式で進められるため、受講生は、事前の一次文献と二次文献の徹底した予習が求められる。かつ、授業中には積極的な発言が求められる。	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OABAA82	西洋哲学II(2)A	1	1.0	1・2				フランス古典主義時代の哲学書を読解するうえで必要となる1)語学力、2)哲学・哲学史にかかわる知識、3)読解を通じて考察したことを文章にする技法の習得を目指す。そのために、近世フランス哲学の基本文献をフランス語原典で講読する。本授業は演習形式で進められるため、受講生は、事前の一次文献と二次文献の徹底した予習が求められる。かつ、授業中には積極的な発言が求められる。	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
OABAA83	西洋哲学II(2)B	1	1.0	1・2				フランス古典主義時代の哲学書を読解するうえで必要となる1)語学力、2)哲学・哲学史にかかわる知識、3)読解を通じて考察したことを文章にする技法の習得を目指す。そのために、近世フランス哲学の基本文献をフランス語原典で講読する。本授業は演習形式で進められるため、受講生は、事前の一次文献と二次文献の徹底した予習が求められる。かつ、授業中には積極的な発言が求められる。	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
OABAA84	西洋哲学II演習(1)A	2	1.0	1・2	春C	火5,6	津崎 良典	近世ヨーロッパの哲学書を読解するうえで必要となる1)語学力、2)哲学・哲学史にかかわる知識、3)読解を通じて考察したことを文章にする技法の習得を目指す。そのために、近世ヨーロッパ哲学の基本文献をラテン語原典で講読する。本授業は演習形式で進められるため、受講生は、事前の一次文献と二次文献の徹底した予習が求められる。かつ、授業中には積極的な発言が求められる。	西暦偶数年度開講。 02DBG77と同一。 対面(オンライン併用型)
OABAA85	西洋哲学II演習(1)B	2	1.0	1・2	秋C	火5,6	津崎 良典	近世ヨーロッパの哲学書を読解するうえで必要となる1)語学力、2)哲学・哲学史にかかわる知識、3)読解を通じて考察したことを文章にする技法の習得を目指す。そのために、近世ヨーロッパ哲学の基本文献をラテン語原典で講読する。本授業は演習形式で進められるため、受講生は、事前の一次文献と二次文献の徹底した予習が求められる。かつ、授業中には積極的な発言が求められる。	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
OABAA86	西洋哲学II演習(2)A	2	1.0	1・2				近世ヨーロッパの哲学書を読解するうえで必要となる1)語学力、2)哲学・哲学史にかかわる知識、3)読解を通じて考察したことを文章にする技法の習得を目指す。そのために、近世ヨーロッパ哲学の基本文献をラテン語原典で講読する。本授業は演習形式で進められるため、受講生は、事前の一次文献と二次文献の徹底した予習が求められる。かつ、授業中には積極的な発言が求められる。	西暦奇数年度開講。 02DBK77と同一。 対面(オンライン併用型)
OABAA87	西洋哲学II演習(2)B	2	1.0	1・2				近世ヨーロッパの哲学書を読解するうえで必要となる1)語学力、2)哲学・哲学史にかかわる知識、3)読解を通じて考察したことを文章にする技法の習得を目指す。そのために、近世ヨーロッパ哲学の基本文献をラテン語原典で講読する。本授業は演習形式で進められるため、受講生は、事前の一次文献と二次文献の徹底した予習が求められる。かつ、授業中には積極的な発言が求められる。	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)
OABAA94	西洋哲学III演習(1)A	2	1.0	1・2	春AB	金6	西村 雄太	キリスト教哲学に関する文献を読む	西暦偶数年度開講。 対面
OABAA95	西洋哲学III演習(1)B	2	1.0	1・2	秋AB	金6	西村 雄太	キリスト教哲学に関する文献を読む	西暦偶数年度開講。 対面
OABAA96	西洋哲学III演習(2)A	2	1.0	1・2				キリスト教哲学に関する文献を読む	西暦奇数年度開講。 対面
OABAA97	西洋哲学III演習(2)B	2	1.0	1・2				キリスト教哲学に関する文献を読む	西暦奇数年度開講。 対面

倫理学分野

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OABAAE4	現代倫理学演習(1)A	2	1.0	1・2	春C	木4,5	太田 紘史	自由意志および道徳的責任が、決定論や非決定論といった形而上学的脅威とどのように衝突するののかについて考える。日本語テキストの輪読を通じて係争点を学ぶことを基本として、適宜、英語文献の読解トレーニングを行う。	西暦偶数年度開講。 02DBH54と同一。 オンライン(同時双方向型)
OABAAE5	現代倫理学演習(1)B	2	1.0	1・2	秋AB	金3	太田 紘史	人工知能に関わる多様な倫理的問題について検討する。授業は日本語テキストの輪読とディスカッションの形で進め、適宜英語文献を用いた演習も行う。	西暦偶数年度開講。 02DBH55と同一。 オンライン(同時双方向型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OABAAL4	宗教学I演習(1)A	2	1.0	1・2	春AB	水2	木村 武史	宗教現象を多角的に取り上げる視点を身に付け、多様な宗教現象に関わる資料の読解力を身に付ける。英語の文献を読む。	西暦偶数年度開講。 02DBJ64と同一。 対面
OABAAL5	宗教学I演習(1)B	2	1.0	1・2	秋AB	水2	木村 武史	宗教現象を多角的に取り上げる視点を身に付け、多様な宗教現象に関わる資料の読解力を身に付ける。英語の文献を読む。	西暦偶数年度開講。 02DBJ65と同一。 対面
OABAAL6	宗教学I演習(2)A	2	1.0	1・2				宗教現象を多角的に取り上げる視点を身に付け、多様な宗教現象に関わる資料の読解力を身に付ける。宗教現象学に関連する古典的著作を読み解く。オッター、エリアーデなどの著作を読解する。	西暦奇数年度開講。 02DBM64と同一。 対面
OABAAL7	宗教学I演習(2)B	2	1.0	1・2				宗教現象を多角的に取り上げる視点を身に付け、多様な宗教現象に関わる資料の読解力を身に付ける。宗教社会学に関連する古典的著作を読み解く。デュルケム、ウェーバーなどの著作を取り上げる。	西暦奇数年度開講。 02DBM65と同一。 対面
OABAAPA	宗教学実習(1)	3	2.0	1・2	春C	集中	木村 武史	現代日本社会における伝統宗教の現状を实地調査を通して、宗教現象の実情に触れる。下記の一連の流れを通して、实地調査をする。(事前学習 实地調査 報告会 報告書作成)	西暦偶数年度開講。 02DBJ72と同一。 対面
OABAAPB	宗教学実習(2)	3	2.0	1・2				現代社会における新宗教の現状を实地調査を通して学ぶ。宗教現象の実情に触れる。下記の一連の流れを通して、实地調査をする。(事前学習 实地調査 報告会 報告書作成)	西暦奇数年度開講。 02DBM72と同一。 対面
OABAARO	宗教思想史I(1)A	1	1.0	1・2	春AB	火6	志田 泰盛	11~12世紀に書かれたインド仏教知識論の綱要書を原典講読し、その基本概念を理解するとともに、サンスクリットで書かれた哲学書の読解方法を学ぶ。モークシャーカラグプタ著『論理のことは』(第1章)を読みながら、仏教知識論における認識論の基本概念を解説する。	西暦偶数年度開講。 02DBJ75と同一。 対面
OABAAR1	宗教思想史I(1)B	1	1.0	1・2	秋AB	火6	志田 泰盛	11~12世紀に書かれたインド仏教知識論の綱要書を原典講読し、その基本概念を理解するとともに、サンスクリットで書かれた哲学書の読解方法を学ぶ。モークシャーカラグプタ著『論理のことは』(第2章)を読みながら、仏教知識論における推理論の基本概念を解説する。	西暦偶数年度開講。 02DBJ76と同一。 対面
OABAAR2	宗教思想史I(2)A	1	1.0	1・2				インド古典のサンスクリット語原典の哲学文献を講読する。原典については、可能な限り写本等の一次資料も参照し、文献実証的な精読を心がける。サンスクリット語の語学力を養うと同時に、哲学的考察力、議論する力を磨く。	西暦奇数年度開講。 02DBM75と同一。 対面
OABAAR3	宗教思想史I(2)B	1	1.0	1・2				引き続き、インド古典のサンスクリット語原典の哲学文献を講読する。古典テキストの批判校訂の方法論についてはインド学以外の方法論も吟味する。サンスクリット語の語学力を養うと同時に、テキスト校訂の手法、議論する力を磨く。	西暦奇数年度開講。 02DBM76と同一。 対面
OABAAS4	宗教思想史II演習(1)A	2	1.0	1・2	春AB	木6	横山 剛	サンスクリット語等で記された原典、ならびに関連する諸研究の読解を通じて、インド仏教の思想を学ぶ。特に説一切有部の文献と思想を対象とする。	人社会学系棟B806で実施 西暦偶数年度開講。 02DBJ87と同一。 対面
OABAAS5	宗教思想史II演習(1)B	2	1.0	1・2	秋AB	木6	横山 剛	サンスクリット語等で記された原典、ならびに関連する諸研究の読解を通じて、インド仏教の思想を学ぶ。特にインド仏教最後期に属する綱要書とそこで紹介される諸々の教理を対象とする。	西暦偶数年度開講。 02DBJ88と同一。 対面
OABAAS6	宗教思想史II演習(2)A	2	1.0	1・2				サンスクリット語等で記された原典、ならびに関連する諸研究の読解を通じて、インド仏教の思想を学ぶ。特に大乘中観派の文献と思想を対象とする。	西暦奇数年度開講。 02DBM87と同一。 対面
OABAAS7	宗教思想史II演習(2)B	2	1.0	1・2				サンスクリット語等で記された原典、ならびに関連する諸研究の読解を通じて、インド仏教の思想を学ぶ。特に大乘瑜伽行派の文献と思想を対象とする。	西暦奇数年度開講。 02DBM88と同一。 対面
OABAAT0	宗教思想史III(1)A	1	1.0	1・2	春AB	木5	平野 貴大	シーア派の第二聖典であるハディース集の読解を通じて、シーア派を中心にイスラーム思想を考察する。シーア派の中で最も権威あるクライニー(941年没)のハディース集のアラビア語原典と英訳、日本語訳を配布し読解する。	西暦偶数年度開講。 02DBJ91と同一。 対面(オンライン併用型)
OABAAT1	宗教思想史III(1)B	1	1.0	1・2	秋AB	木5	平野 貴大	シーア派の第二聖典であるハディース集の読解を通じて、シーア派を中心にイスラーム思想を考察する。シーア派の中で最も権威あるクライニー(941年没)のハディース集のアラビア語原典と英訳を配布し読解する。秋学期は前期の続きから始めることとする。	西暦偶数年度開講。 02DBJ92と同一。 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OABAAT2	宗教思想史III(2)A	1	1.0	1・2				シーア派の第二聖典であるハディース集の読解を通じて、シーア派を中心にイスラーム思想を考察する。シーア派の中で最も権威あるクライニー(941年没)のハディース集のアラビア語原典と英訳を配布し読解する。	西暦奇数年度開講。 02DBM91と同一。 対面(オンライン併用型)
OABAAT3	宗教思想史III(2)B	1	1.0	1・2				シーア派の第二聖典であるハディース集の読解を通じて、シーア派を中心にイスラーム思想を考察する。シーア派の中で最も権威あるクライニー(941年没)のハディース集のアラビア語原典と英訳を配布し読解する。秋学期は前期の続きから進めることとする	西暦奇数年度開講。 02DBM92と同一。 対面(オンライン併用型)
OABAAV0	宗教哲学(1)A	1	1.0	1・2	春AB	火5	土井 裕人	東西の宗教哲学から、古代や古典に根ざしながらも、現代においてなお重要なテーマを講読し検討する。特に、悪の存在をめぐる神義論を手がかりとする。	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
OABAAV1	宗教哲学(1)B	1	1.0	1・2	秋AB	火5	土井 裕人	東西の宗教哲学から、古代や古典に根ざしながらも、現代においてなお重要なテーマを講読し検討する。特に、悪の存在をめぐる神義論を手がかりとする。	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
OABAAV2	宗教哲学(2)A	1	1.0	1・2				東西の宗教哲学から、古代や古典に根ざしながらも、現代においてなお重要なテーマを講読し検討する。特に、悪の存在をめぐる神義論を手がかりとする。	西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
OABAAV3	宗教哲学(2)B	1	1.0	1・2				東西の宗教哲学から、古代や古典に根ざしながらも、現代においてなお重要なテーマを講読し検討する。特に、悪の存在をめぐる神義論を手がかりとする。	西暦奇数年度開講。 2026年度開講せず。 対面(オンライン併用型)